

「白堊研究Ⅰ」（第3回）学習指導案

- 1 単元名 「ディスカッションへの貢献」
- 2 本時の目標
- ・今後の活動のために、日立一高の「ディスカッションマインド」をもつ。
 - ・ブレインストーミングを身に付ける
 - ・活動内容を理解し、しっかり考えながら行動する。

3 本時について

（1）活動内容

本校におけるSSH 研究開発課題は「科学的ディスカッションができるリーダーを育成するための研究」である。ここでの「ディスカッション」の本校定義は、「考えを深めるため、より良い答えを見つけるための議論」である。「白堊研究Ⅰ」においても「ディスカッション」を重視した活動を行う。そのため、誰とでも議論できるようにすることが必要となる。しかし、「議論」はあくまでも方法である。よって、「技法（手法）」がある。「技法」を知っていれば、だれでも「議論」を活用することができる。誰とでも話ができる環境をつくる、考えを深めるため疑問を投げかけたり、あえて視点を変えてみたり、議論の効率性を高めるなど、「ディスカッションという手法」について考える。

（2）指導方法の研究

「指示事項」は、与えすぎてはいけない。考えて行動できる範囲で与える。そのための、指示・発言の量・内容の研究（褒めながら伸ばす指導、生徒の気づきを促す発問の仕方など）をする。また、十分な活動がなされたか、随時、評価が必要である。十分に活動がなされていないとき、「問題」は、「生徒」か「指導法」か評価する。

4 準備・資料

青付箋、マッキー（各班2個ずつ、合計20個ずつ準備）
BS用紙、「ディスカッションへの貢献」用紙

5 展開

過程	学習活動	指導内容および留意点
導入 12分	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間前に教室に入り、<u>配付物を配付</u>する。 青付箋、マッキー、BS用紙 ・グループをつくらせておく（おいてもよい）。（9-10班）
教師 vs 生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者とコミュニケーションをする。（1分） <p>○テーマ ディスカッションへの貢献 ～ディスカッションを活性化させる手立て～ 説明（1分）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・始業開始のチャイムが鳴り終わったら、号令をかけさせ、開始する、 ・担当者の紹介をする。 今日の「白堊研究Ⅰ」の担当の〇〇です。 <p>説明① 「この授業では、ディスカッションを重視した活動をしていきます。まずは、「ディスカッション」とは何か、考えていきましょう。」</p>

	<p>○ディスカッションの意義 (5分)</p> <p>○ディスカッションの価値 (5分)</p>	<p>質問①「ディスカッションとはなにか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒に質問をする。 ・生徒から意見をもらう(指名してよい。辞書を引かせてもよい。電子辞書, スマホ可?) ・意見はできるだけ板書する。 ・生徒を何人指名してもよい。 <p>※「討論・討議・議論」ができればよい。</p> <p>質問②「ディスカッションによるメリットとは？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒に質問をする。 ・意見はできるだけ板書する。 ・生徒を何人指名してもよい。 <p>※「より良い答えを導く出す」「考えを整理する」「自分の考えが深まる」 などが出るとよいが、出なくてもよい。</p>
<p>展開 (1) 方法 12分</p>	<p>○説明(2分)</p> <p>○雰囲気づくり 説明(2分)</p> <p>BS(6分)</p> <p>発表(2分)</p>	<p>説明 「ここから、グループ内でブレインストーミングをしていってもらいます。」※グループつくる 「グループで1名書記をやってください。青付箋にマッキーで発言を簡潔に記載し、ワークシートにどんどん貼って行ってください。当然、書記も発言してください。」 「ブレインストーミングは前回もやりましたが、アイデアをどんどん出していく活動ですので、否定してはいけません。とにかく、どんどんアイデアを出して行ってください。」</p> <p>説明② 「最初のテーマです」 「ディスカッションは、ヒトと話し合うことで成立します。よって、話し合う雰囲気が必要です。」</p> <p>質問③「話しやすい雰囲気は、どのようにつくればよいですか？」 「では6分間ブレインストーミングを始めてください。」</p> <p>「時間です。では〇班、どれだけ意見が出たか発表してください。」 ・時間が余れば、複数班発表させて良い。 ※「うなづき」「(適度な)オウム返し」など、他者を肯定する行動が必要。など出ればよい。出なくてもよい。</p>
<p>展開 (2) 本論 22分</p>	<p>説明(2分)</p> <p>○ディスカッションの技法 説明(2分)</p> <p>BS(6分)</p>	<p>説明③ 「先程、ディスカッションは雰囲気作りが必要だと話をしました。実は、ディスカッションは物事を解決するための方法です。よって、うまく活用するためには、ルールを設けたほうが良いです。そのことを考えていきましょう。」</p> <p>質問④「話し合いをするにあたって、どんなことに気を付けたらよいでしょう。「白堊研究Ⅰ」では4人以上で活動することが多いので、そのくらいの人数での話し合いを想定してブレインストーミングしてください。」 「では6分間ブレインストーミングを始めてください。」</p>

	<p>発表（2分）</p> <p>○ディスカッションに生き詰まったとき 説明（2分）</p> <p>BS（6分）</p> <p>発表（2分）</p>	<p>「時間です。では○班、どれだけ意見が出たか発表してください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 時間が余れば、複数班発表させて良い。 <p>※「目的を設定しているか」「目的から離れていないか」「全員が意見を言っているか」「ディベートになっていないか」など出ればよい。</p> <p>質問⑤「話し合いをしても、途中で行き詰ってしまうことがあります。そこで、話をまとめてしまうと、結果的に中身がない内容になってしまうこともあります。話し合いに深まっていなければ、やはり話し合いを続けなければなりません。その際、どんな工夫をすれば、話し合いが活性化すると思いますか？」</p> <p>「では6分間ブレインストーミングを始めてください。」</p> <p>「時間です。では○班、どれだけ意見が出たか発表してください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 時間が余れば、複数班発表させて良い。 <p>※「(気になる意見に) 質問をする」「全員からもう一度意見をもらう」「中間まとめを試してみる」「視点を変えて意見・質問を試してみる」「メリット・デメリットを検討してみる」「目的等を再確認する」など出ればよい。</p> <p>※④⑤の意見が入り乱れる可能性があります。板書時、教員がうまく板書で振り分けてください。</p>
<p>まとめ 9分</p>	<ul style="list-style-type: none"> • プリント配布（1分） • 教員からのまとめ（3分） • 回収する。（5分） • 礼儀正しく挨拶する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 「ディスカッションへの貢献」用紙を全員に配る。 <p>「この用紙には、本校で考えるディスカッションへの貢献（ディスカッションを活性化させる手立て）が記載されています。自分たちが出した意見が含まれていますか？多くの意見が出たので、含まれていると思います。ぜひ、今後、HR等でも活用してみてください。」</p> <p>「また、BS はいかがでしたか？いっぱい頭を使いましたか？BSは思考力を高めるためにも必要な活動です。問題が発生したら、使ってみてください。」</p> <p>「では、今日使ったものを回収します。」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 青付箋、マッキー、BS用紙 回収 <p>「以上で、授業を終わりにします」（号令）</p>
<p>終了後</p>	<ul style="list-style-type: none"> • BS用紙、PDFにする。 	

ディスカッションへの貢献～ディスカッションを活性化させる手立て～ (穴埋めノート作成) 教師用

1年 組 番 名前 _____

※「答え」があると、生徒は「答え」を待って、考えなくなるのでは？

○ディスカッションの意義（価値）

ディスカッション（discussion）：討論，討議，議論

人と話し合うことにより，自分の考えが深まり，より良い答えを見つけ出せる。

☆本校の「ディスカッション」の定義

「自分の考えを深め，より良い答えを見つけるための議論」

コミュニケーション（意思疎通）

○雰囲気づくり（ディスカッションに貢献する意識づけ）

- ・相手への声かけ
- ・話し方聞き方（アイコンタクト，傾聴，うなづき等）

○ディスカッションの技法

- ・議事進行管理（司会だけでなく全員がする）
 - 目的[目標・条件]設定があっているか確認する
 - 話し合いが目的から離れていないか確認する。
 - 全員が意見を言っているか確認する。
 - 話し合いになっているか，一方的なものになっていないか確認する。
- ・時間管理（目的[目標・条件]設定・意見を出し合う・意見をまとめる・結論付ける）
 - ↑意外とどちらも時間がかかる
- ・ディスカッションが行き詰ったとき
 - 質問をする
 - 全員の意見をもらう。
 - 話し合いの振り返り（中間まとめ）をする。
 - 視点を変えた意見・質問をする
 - メリットとデメリットの検討をする
 - 目的[目標・条件]設定の再確認をする
- ・質疑応答（回答が「Yes」「No」の質問はしない。話し合いが深まる質問とは？）
- ・まとめ方（実行可能か？ 目的[目標・条件]設定に対応しているか？）

ディベート（特定のテーマについて肯定・否定の二組に分かれて行う討論）的要素

ディスカッションへの貢献～ディスカッションを活性化させる手立て～

生徒用

1年 組 番 名前 _____

○ディスカッションの意義（価値）

○雰囲気づくり（ディスカッションに貢献する意識づけ）

○ディスカッションの技法

- ・ 議事進行管理（司会だけでなく全員がする）

- ・ 時間管理（目的[目標・条件]設定・意見を出し合う・意見をまとめる・結論付ける）
↑ 意外とどちらも時間がかかる

- ・ ディスカッションが行き詰ったとき

- ・ 質疑応答（回答が「Yes」「No」の質問はしない。話し合いが深まる質問とは？）

- ・ まとめ方（実行可能か？ 目的[目標・条件]設定に対応しているか？）

「白堊研究Ⅰ」【Check-List】＜教員用＞

③ディスカッションへの貢献

1年（ ）組

○を記入し、「要因」を記載する。↓

・時間通りできなかった。		<input type="checkbox"/>
要 因		
・指示がうまくいかなかった。		<input type="checkbox"/>
要 因		
・生徒が積極的に動かなかった。		<input type="checkbox"/>
要 因		
・その他の問題点		